



将来への期待と不安を漠然と感じる中で、群れになって飛行するトンボに導かれるように、立ち止まりながらも前を向いて歩いていきたいという思いを込めた。幼い頃から身近な存在であったトンボを人生の道標に見立て、夏の一場面を描いている。

夏になると過ぎ去った出来事や幼い頃に好んでいたものを思い出し、やけに過去に惹かれてしまう。過去を振り返ると同時に自分を見つめ直す機会を与えてくれるような季節である。これから更に歳をとって大学生生活を懐かしく思う日に、作品を見返して今の感情を思い出すことができるよう、現在の想いを記録した作品である。

日本画

高知麻紙、岩絵具、水干絵具 H194cm×W261cm 1点

筑波大学芸術専門学群 2023年度卒業制作

このコーナーでは、筑波大学芸術系ならびに同大学の芸術専門学群を卒業された方々のご協力のもと、芸術作品を掲載しています。